

ふれあ

朝、出勤すると「おはよう！」という元気のいい子ども達の声で私の一日が始まります。

それは三十八年前から変わらず続く光景です。

その中で、最近の保護者の方の子どもとの関わり方を見ていると、昔はこういう人はいなかったなあと感じるものがたくさんあります。まず、挨拶のできない保護者の方があることです。保護者の方は挨拶をしないのに、子どもに「挨拶をしないさい。」と言っている姿に、疑問を感じます。また、子どもがルールを破ってやりたい放題をしていますが、注意をしない方がいます。更に、「子どもがした悪戯は親には関係ない」という考えの方もおられ、それは、間違った考え方だと思っています。



私の保育への思い

公益社団法人 倉敷市民間保育所協議会

副会長 岡野 田鶴子

挨拶にしても、謝罪にしても親の姿を見て子どもは育っていくのです。子どもにしっかりと背中をみせてあげて欲しいと思います。

また、悪い事をした時、気分になかせて怒っている方もいます。同じことをしても、怒られたり怒られなかったりすると、子どもは何が悪かったのかわからなくなってしまう。冷静に心を落ち着けて、何が悪いから注意を受けているのかを知らせながら叱ることが大切だと思います。

保護者の方にいろいろお伝えしたいことはありますが、信頼関係を築く上でなかなか言いにくいこともあります。やむを得ず言った場合にも、受け入れて頂けないこともあり、大変苦労しています。日本語とは難しいもので、お願いのつもりが相手にそう受け取ってもらえないこともあるので、言葉を選ぶのに慎重にならなければいけません。

また、受ける方の精神

状態によっては言葉通りに受け取ってもらえないこともあります。実業家の松下幸之助さんは、「素直な心」によってこそ、個人の成功、会社の発展、ひいては社会、世界の繁栄、平和、幸福が実現されるのだと主張されておられました。「素直な心」とは、「自分の欲望や感情、考えにとらわれることなく、物事をみるから、物事全体をあるがままに知ることができる。また、冷静に何をすべきか、何をすべきでないかを理解できる。つまり、常に適時適切な判断、行動がとれる心のあり方である」とおっしゃっています。その通りだと思っています。

保護者の方それぞれが、子育てに対しての思いやポリシーがあると思います。でも、保育者からのアドバイスを真つ新な気持ちで受け止めて頂きたいと思っています。同時に、私自身も保護者の方の言い分を真つ新な気持ちで受け止め、今後の保育に活かせるよう心掛けています。

セトモノとセトモノとぶつかりっこするとすぐこわれちゃうどっちかやわらかければ、だいじょうぶやわらかいころをもちましよう

そういうわたしはいつもセトモノ

私もなかなかやわらかい心をもてないことがあります。私には子どもがおらず、園に来た子ども達が全員、我が子であり、我が孫です。将来を担う子どもたちが、素直なやわらかい心をもって育って欲しいといつも願っています。そのためにも、私も、保護者の方と同様、子どもたちの身近な存在として、恥ずかしくないよう、しっかりと背中を見てもらえるよう、日頃の保育に取り組んでいかなければならないと思っています。私の一生の仕事として、保育の道を深め、これからは、現役で頑張っている限り現役で頑張ります。



ちまた

園庭でいつものようにシャボン玉遊びをしていた子どもたち。小さいのや中くらいのシャボン玉が、いくつもいくつも空に飛んでいく。そこで、「今日は、こんな持ってきたよ。」と、大きめのマルの輪、大きめのマルの中に小さなマルがいくつもある輪を見せながら、「これは、どんなシャボン玉ができるかな？」と問いかけてみる。すると、「大きなシャボン玉」「小さいのがたくさんできる！」など、今までの経験から得意そうに答える。「じゃあ、これは？」と言って、「フクフクする気持ちをおさえながら、三角の輪を最後に出してみると、「わあ。サンカク？サンカクのシャボン玉ができるかな！」「サンカクよな。」など、子どもなりに一生懸命に議論している。「こんな形ができるかな。やってみよう。」と言って、「する！」と言って、目をキラキラさせながら走っていった。早速、三角の輪から挑戦。もちろん、できた形はマルであるが、子どもたちは予想外の出来事に驚き「……」そして、「マルになった!!」「なんで、マルなんーサンカクなのになあ。」と興奮冷めやらぬ様子で、三角の輪で大きなシャボン玉をたくさん作って楽しんでいた。

現代は情報社会。子どもたちは、経験しなくとも様々なところから情報を得て、知識を積み重ねていく。しかし、子どもたちは実際に触れて、感じて、聞いて、嗅いでみて五感を働かせ、感動体験の積み重ねによって感性が育まれていく。

私たち大人も自分自身の感性を磨くことを意識し、多くの感動に出会い世界を広げていくことが、子どもの感性を育むことに繋がっていくのではないだろうか。

新任・転任園長先生の紹介

真言保育園
岡野 千恵子先生

この度、真言保育園の園長に就任いたしました。

歴史ある園の保育理念を引き継ぎ、保護者の皆様、地域の方々と一緒に子どもたちが笑顔でいきいき過ごせるよう、職員一同、子どもの育ちに寄り添いながら、日々の保育に頑張っておりまのでどうぞよろしくお願い致します。

聖和保育園
滝本 文明先生

爽やかな町水島で今年度より聖和保育園の園長に就任いたしました。

園の特徴である、キリスト教精神に基づき、一人ひとりを温かく受け入れ、人を愛する心、ゆるす心、がまんする心を養い育てる保育を目指しています。子どものために、職員と保護者が協力し合い、より良い園をつくってまいります。皆様のご指導とご協力をよろしくお願い致します。

ちゃや保育園
星島 泉先生

自然に囲まれた静かな環境の中で、子どもたちと共に発見や体験を通して日々の生活を楽しみ、子ども目線の新鮮な喜びを共有したいと考えております。また、保育園が保護者の方と共に子どもたちの成長を喜びあえる子育ての場となるよう、努めたいと思います。園長一年生ですが職員と共にやりがいのある職場づくりを目指します。

中洲保育園
山口 浩子先生

同法人の前任園より、異動して今年度から園長になりました。着任して数カ月が経ち、やっと子どもたちの顔と名前が一致してきて、「〇〇ちゃん」と呼べるようになってきました。ひとりひとりとしっかり向き合い、心地良く過ごせるような保育を職員と共に、作りあげていきたいと思っています。

みらい保育園
亀高 弥貴子先生

みらい保育園は2年目を迎えました。子どもたちと職員と、一緒に日々成長しながら学んでいき、そして保護者の皆さんに安心して預けていただける保育園となれるように、これからの歴史を作り上げていきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

遍照保育園
大原 正義先生

園の事情により、園長に復帰しました。以前、ご一緒していた先生方と再びお会いするようになり、身の引き締まる思いがいたしております。しばらくの間ですが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

笹沖保育園
大西 美子先生

今年度、鳥の子保育園より笹沖保育園に転任して参りました。まだ、歴史の浅い保育園ですが「子どもも保護者も職員も共に育つ保育園」という法人理念を大切に、笑顔が溢れこころ豊かな子ども達を育てられるよう努めたいと思います。今後とも皆様方のご指導をよろしくお願い致します。

鳥の子保育園
藤井 美子先生

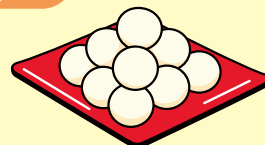
この度、園長の責務を引き継ぐことになり身の引き締まる思いがしております。44年間の足跡の伝統を大切にしながら四季折々の豊かな自然の環境の中で温かい保育士の手立てを通して、一人ひとりが無理なく過ごせ、自分の思いが伝えられる子どもたちに育つように努力してまいります。どうぞよろしくお願い致します。

親子で作ろう 簡単おやつレシピ

白玉だんごの作り方

☆材料(4人分)

- 白玉粉…100g
- 絹豆腐…100g
- 水……適宜



- ①白玉粉と絹豆腐を混ぜ、耳たぶくらいのかたさになるまでよくこねる。パサつく場合は少しずつ水を加える。
- ②食べやすい大きさに丸め、真ん中を指で押さえてくぼませる。
- ③沸騰した湯の中に②を入れ浮き上がるまで茹でる。浮き上がってからさらに2～3分茹で、すくい上げて冷水に入れる。
- ④水気を切りお好みのたれ等にかからめて出来上がり。

☆芋あん

- さつま芋…500g(2本)
- 砂糖…150g
- 塩……少々(入れすぎに注意)
- みりん……大さじ1
- ごま

☆みたらしのたれ

- 醤油…大さじ1と1/2
- 砂糖…大さじ2
- 水……大さじ2と1/2
- 片栗粉……小さじ1

☆黒ごまペースト

- 黒ごま、はちみつ1:1

すりつぶした黒ごまとはちみつを1対1の割合で混ぜ合わせ。





幼児健診 受付の様子

保健師さんと
子育て家庭とのかわり

子育てはじめての一步教室
1歳6か月児健康診査
2歳児歯科健康診査
3歳児健康診査
電話相談・家庭訪問

地域の保健師さんから一言

倉敷 子どものすやかな育ちと保護者の方が、地域で安心して子育てできることを目指しています。そのために、小学校区単位で子育て応援をする機関や、地区組織の人と一緒に、子育てしやすい地域となるよう「子育て応援会議」を展開しているところです。

玉島 おじいちゃんおばあちゃんが比較的近くに住んでいることが多く、みんなで協力して育児をされているのが特徴です。また、地域の保育園、幼稚園、療育機関、くらしき作陽大学等とつながって地域の子育て支援を連携して取り組んでいるところです。（修活プロジェクト）

水島 「母親全面サポート」の気持ちをもって仕事にあたっています。信頼関係を築き、いつでも双方が話し合える関係性を大切にしています。保護者の気持ちを理解することが第一歩だと思っています。

児島 児島地区は住民同士の交流や見守りが手厚いのが特徴です。「みんなで育てていく」という地域性をもち、子育て支援センター、親子クラブ、子育て広場、子育てカレッジなど、多くの子育て支援があり、その中で広く関係づくりができるようにしています。

真備 保護者と保健師と保育園とのトライアングルの形で連携、情報交換ができるように心がけています。また、真備は人口23,000人ほどのエリアなので支援もしやすく、幼稚園・保育園などにも頻繁に回ることができ、情報交換しやすいのが特徴です。

倉敷市の親子の子育て応援団

～保健師さんにぎぎました～

保健師さんは、住民が安心・安全にその人らしく健やかに暮らせる、地域づくりを目指しています。今回は、その中でも乳幼児に関する仕事にスポットをあててみました。

健康診査って…??

各健診では、問診、身体計測、内科診察、歯科診察、歯科・栄養・遊び・保健指導等を行います。子どもが心身ともに成長しているか確認でき、保護者の方が日頃から気になっている事などの相談ができます。

1歳6か月児健康診査
【相談内容】
・身長・体重など成長を知りたい。
・病気がないか、みて欲しい。
・歯みがき・指しゃぶりの相談をしたい。
・卒乳はどう進める？
・ことばや人見知りなど、こころの発達を相談したい。

3歳児健康診査
【相談内容】
・身長・体重など成長を知りたい。
・病気がないか、みて欲しい。
・落ちつきがない、集団生活になじめないなど、こころの発達をみて欲しい。
・トイレトレーニングがうまくいかない。
・偏食の対応はどうしたらいい？

幼児健診のフォロー

保健師さんは保護者の気持ちによりそい、一緒に考える姿勢で関わります。話をきくだけでなく、その様子にあわせた支援を紹介するなどの仕事もしています。

医療機関紹介

心理相談紹介

子育てサービス紹介

他機関紹介

経過観察教室

家庭訪問電話

健康診査の様子



身体計測 → 問診 → 内科診察 → 歯科診察 → 歯科指導 (1歳6か月児健診は必須) → 栄養指導

遊びの提供 → 保健指導

ほかにもこんな
子育て応援団がいますよ!!

主任児童委員 愛育委員 栄養委員 保育士